

吸引式高機能捕虫器

Clean Eco Line
GXmini
クリンエコラインGXミニ

取扱説明書

2021年1月 第2版



本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みください。
本書は、お読みになった後いつでも使用できるように、必ず所定の場所に保管してください。



イカリ消毒株式会社

文書管理番号
B-GXM01-0111

はじめに

このたびは、クリンエコラインGXmini（以下「本製品」と記載）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品をお使いいただく際には、この取扱説明書（以下「本書」と記載）をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐに取り出せる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

登録商標について

本製品は、イカリ消毒株式会社（以下「当社」と記載）の登録商標です。

著作権

本書の著作権は、当社またはその許諾者が有します。また、お客様は、当該情報を当社の承諾なしに第三者に開示できません。

当社から事前に許可を受けることなく、本書の全部または一部を使用および複製することはできません。また、本書の全部または一部を他の言語に翻訳、書き換えを行うことも禁止されています。

本書の対象読者について

本書は、本製品をご使用になるすべての方を対象に記載しています。ただし、通信試験や電気工事など専門技術を要する作業についての内容は記載しておりませんので、それらの専門技術情報は、しかるべき資格を有する方が、当社から適切な情報を入手の上行ってください。

お願い

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

この製品は、日本国内専用です。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

製品本体および構成部品、消耗品の廃棄方法は、国または地方自治体が定める行政法令に従ってください。

本製品を貸与または譲渡される場合は、本製品と一緒に本書をお渡してください。

本書の表記方法について

シグナルワードの意味

本書では、記載事項を守らないと人体への危険や物的損傷を招くおそれのある事項に関して、以下のような「警告」や「注意」といったシグナルワードを付けて記載しています。これらのシグナルワードが付いた記載事項は、事前によく読み理解し記載内容を遵守してください。

 警告	「警告」項目は、本製品の運用中に、作業者が死亡または重傷を負う可能性のある場合について記述しています。
 注意	「注意」項目は、本製品の運用中に、作業者が軽傷または中等傷を負う可能性のある場合について記述しています。
注記	「注記」項目は、作業者が負傷するおそれはないが、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こすことが予想される場合について記述しています。

「重傷」、「中等傷」、「軽傷」の定義

「重傷」	失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が出るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
「中等傷」	全治1か月未満の入院を必要とし、軽度の後遺症が出るもの。
「軽傷」	治療に入院や長期の通院が必要ないもの。

絵記号の意味



人体に影響のあるリスクを示す記号です。この記号とともに具体的な警告内容が書かれています。



禁止行為を示す記号です。この記号とともに具体的な禁止内容が書かれています。



実行しなければならない行為を示す記号です。この記号とともに具体的な指示内容が書かれています。



「メモ」項目は、運用上、特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。



「参照」項目は、関連する記載事項がある場合に、その参照先を記載します。

使用期間、供給期限について

設計上の標準使用期間について

 警告	 本製品の「設計上の標準使用期間」は、出荷後6年です。「設計上の標準使用期間」を超えて使用すると、経年劣化による発火や漏電などの事故が発生するおそれがあります。
---	--

この「設計上の標準使用期間」は、保証値ではありません。お客様による適切な維持・管理とお手入れを行った場合の標準的な想定期間です。また、ご使用条件（環境など）により記載数値を満足しないことがあります。

「設計上の標準使用期間」を超えた場合は、お手数ですが当社までご連絡ください。

本書の内容は、本製品が「設計上の標準使用期間」を迎えるまで有効とします。

保守部品の供給期限

保守部品の供給期限は、原則として、本製品の製造中止から6年間を目安としております。

ただし、使用部品のうち汎用の電子部品などにつきましては、メーカーの都合により、短いサイクルで製造が終了したり、仕様が変更されたりすることがあります。

当社では、汎用電子部品の製造終了時には、必要な数量を予測して一定数量を確保するよう努力しておりますが、場合によっては、本製品の製造中止後、6年を経過する前に、保守部品の一部の供給を終了させていただくことがあります。

また、市販品の機器および部品につきましては、各メーカー規定の供給期限となります。

保証期間満了後の修理などについてご不明な場合は、当社にお問い合わせください。

もくじ

はじめに	2
登録商標について	2
著作権	2
本書の対象読者について	2
お願い	2
本書の表記方法について	3
シグナルワードの意味	3
絵記号の意味	3
使用期間、供給期限について	4
設計上の標準使用期間について	4
保守部品の供給期限	4
1 安全にお使いいただくために	7
1.1 運用上の注意	7
1.2 保守・点検時の注意	8
1.3 停電時の注意	8
1.3.1 停電する時間帯が事前に分かっている場合	8
1.3.2 急な停電の場合	8
1.4 製品銘板	9
2 製品概要	10
2.1 本製品の機能	10
2.2 特長	11
2.3 仕様	12
2.3.1 製品仕様	12
2.3.2 付属品	12
2.3.3 オプション品	13
2.4 各部の名称とはたらき	14
2.4.1 本体正面	14
2.4.2 本体背面	15
2.4.3 本体側面	15
2.4.4 センターカバー内	16
2.4.5 操作カバー内	17
3 設置	18
3.1 設置の前に	18

3.1.1	設置の注意事項	18
3.1.2	設置スペース	19
3.1.3	開梱と梱包品の確認	20
3.2	設置の方法	21
3.2.1	壁に取り付ける場合	21
3.2.2	直置きの場合	23
3.2.3	ポール台（オプション品）	23
3.2.4	目隠しカバー（オプション品）	23
4	使用方法	24
4.1	ご使用前の準備	24
4.1.1	誘虫灯の装着を確認する	24
4.1.2	捕虫袋をセットする	25
4.1.3	誘引剤をセットする	27
4.1.4	電源周波数切替スイッチを確認する	29
4.1.5	コンセントに電源プラグを差し込む	30
4.2	起動方法	31
4.3	停止方法	31
5	点検・保守	32
5.1	本体の清掃	32
5.2	捕虫袋の交換	33
5.3	フィルターの洗浄と交換	35
5.4	誘虫灯の交換	37
5.5	誘引剤の交換	40
5.6	ヒューズの交換	42
6	こんなときは	43
7	製品の保管および廃棄	44
7.1	長期間使用しない場合の保管について	44
7.2	製品の廃棄について	44
8	消耗品、オプション品リスト	45
8.1	消耗品	45
8.2	オプション品	45

1 安全にお使いいただくために

本項には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上でお使いください。

1.1 運用上の注意



警告



- ・本製品を本書に記載されている以外の用途では使用しないでください。製品の破損や故障ばかりでなく、けがや重大な事故が発生するおそれがあります。
- ・電源コードを火に近づけたり、破損させないでください。ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- ・指定された電源電圧以外では使用しないでください。製品の破損、発火事故の原因になります。
- ・濡れた手で本体、電源プラグやコンセントに触れないでください。感電などの事故の原因になります。
- ・電源プラグを抜くときには、電源コードを引っ張らないでください。感電やショートして発火することがあります。
- ・電源プラグにほこりが付着したままで使用しないでください。
- ・引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。発火事故などの原因になります。
- ・本製品の分解や改造はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様による分解、改造された製品は、保証の対象外となります。
- ・お客様による修理はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様により修理された製品は、保証の対象外となります。
- ・本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・幼児の手の届くところで使用しないでください。感電やけが、やけどのおそれがあります。



- ・煙が出たり、異臭や異音がした場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・設置場所および設置方法は、必ず「3 設置」に記載している事項に従ってください。

 注意	 ・薬品や有害なガスなどの影響を受ける環境では使用しないでください。本製品が腐食するおそれがあります。 ・本製品を紙や布で覆ったり、燃えやすい物に近づけないでください。火災や製品が発熱し、火災の原因となります。
	 ・誘引剤は、幼児やペットの手が届かない、安全なところに保管してください。 ・必ずご使用地域の周波数を確認の上、電源周波数切替スイッチを設定してください。間違った周波数で使用すると、安定器の発熱や故障の原因となります。
注記	 ・汚れた場合は、中性洗剤をしみ込ませた清潔な布で軽く拭いてください。本製品は、防水構造ではありません。 ・温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがあります。本製品は周辺温度 5～35℃／湿度 80 %RH 以下（結露しないこと）で使用してください。 ・誘虫灯のガラスの破損など、発光状態に異常が見られたときは、速やかに電源プラグをコンセントから抜き、ご使用を停止してください。 ・センターカバー用の鍵は、責任者のもと所定の保管場所を決めて、なくさないように保管してください。

1.2 保守・点検時の注意

 警告	 ・清掃や消耗品交換の際は、必ず電源スイッチを OFF（O）にしてコンセントから電源プラグを抜いて作業してください。 ・清掃および消耗品交換の際は「5 点検・保守」の該当項目に記載されている、注意事項と手順を守って作業してください。
 注意	 ・誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。

1.3 停電時の注意

本製品は、虫の逃走防止に配慮した設計となっていますが、停電時に虫の種類により逃走が懸念される場合は下記の対応をお願い致します。

1.3.1 停電する時間帯が事前に分かっている場合

下記のいずれかの対応をお願い致します。

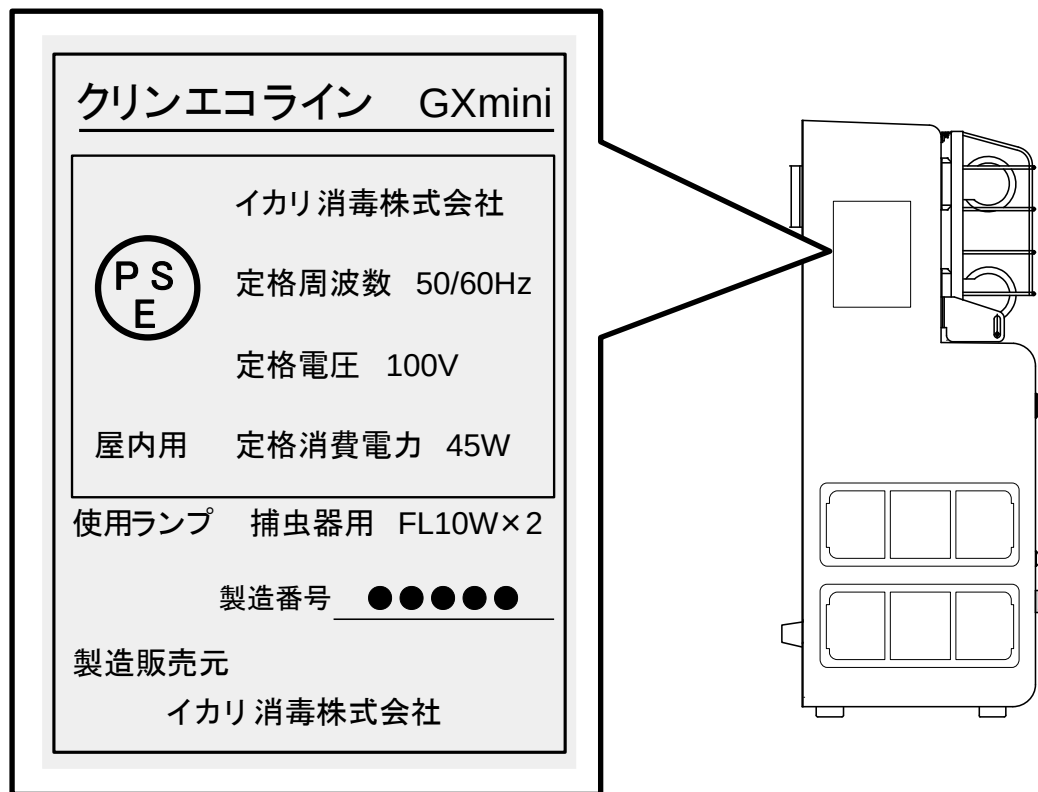
- ・停電前に本体吸引口をテープで目張りしてください。また、復旧時には必ずテープを剥がしてください。テープを貼った状態での運転復帰は故障の原因となります。
- ・停電前に捕虫袋の回収を行い、復旧時に再度取り付けてください。

1.3.2 急な停電の場合

本体のセンターカバーを開き、捕虫袋を取り出してから直接エアゾールを吹きかけて殺虫処理をしてください。

1.4 製品銘板

本製品の製造番号、定格などを記載した銘板を、下図のように貼り付けています。



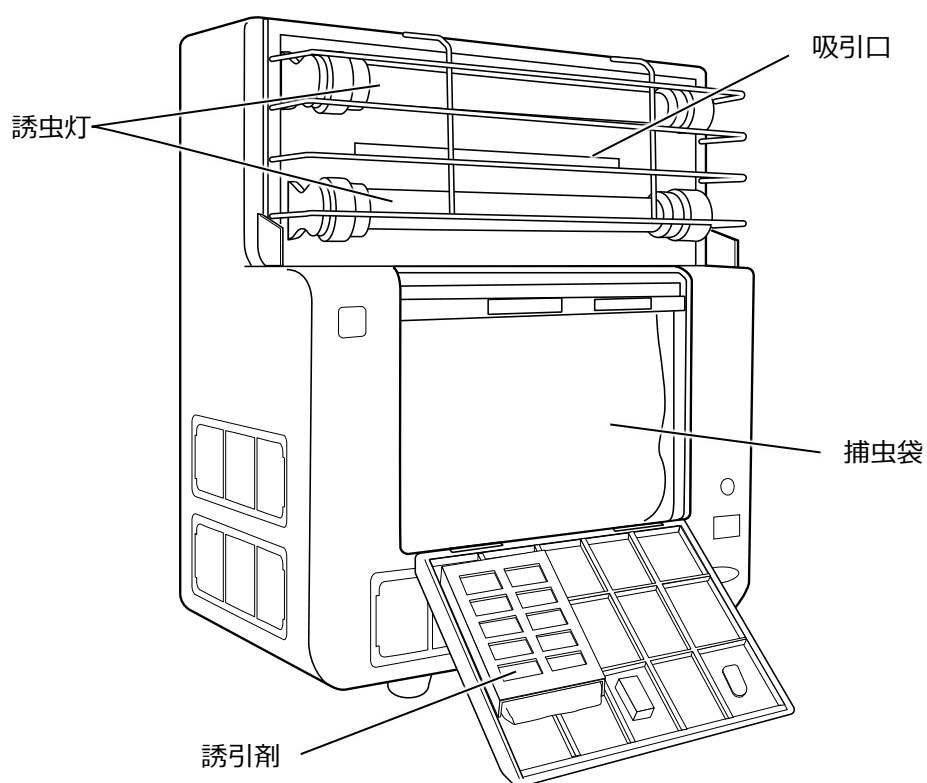
製品銘板が剥がれたり、劣化して読み取れない状態になったりした場合は、当社にご連絡の上、新しい製品銘板を入手してください。入手した製品銘板は、以前と同じ場所に貼り付けてください。

2 製品概要

2.1 本製品の機能

本製品は、食品工場・レストラン・スーパーマーケットなどで問題となる、イエバエ、ノミバエ、ショウジョウバエなどの昆虫（飛翔性昆虫）を捕獲します。

誘虫灯（紫外線）とファンによる吸引に加え、特にハエ類に効果のある誘引剤も標準装備しているので、粘着式では捕獲できなかった虫も吸引して捕まえます。



2.2 特長

捕獲した虫は、逃走防止用の特製捕虫袋に収める設計となっています。

独自の強力誘引構造

製品前面に、誘虫灯（10 W × 2 灯）を上下並列に付け、誘虫灯の後ろには反射板を設けて誘虫効果を高めています。

イカリ消毒オリジナル誘引剤

イカリ消毒オリジナル誘引剤（付属品）により、捕虫効果を高めることができます。

吸引方式

吸引構造により、様々な飛翔性昆虫を効率よく捕獲することができます。特に小さい虫に対して有効です。

捕虫袋による虫の逃走防止

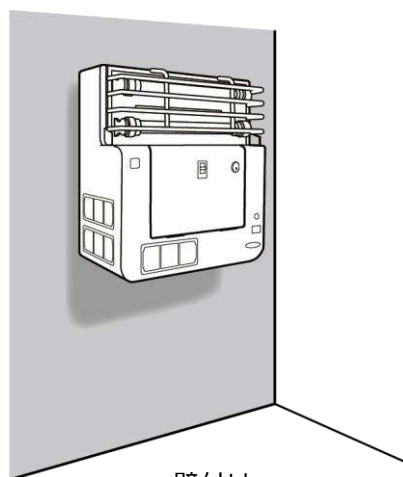
本製品は吸引式捕獲のため、捕虫袋には生きている虫がいます。このため停電時などの虫の逃走を防止するため、捕虫袋は二重構造となっています。また、袋の容量が大きいため、大量捕獲が可能です。

操作性

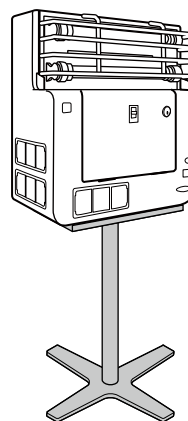
操作は、スイッチのON/OFFだけです。

設置方法

設置方法は直置き・壁付けができます。また、オプション品として専用のポール台も利用できます。



壁付け



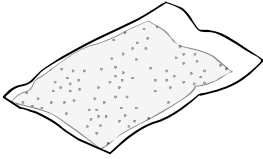
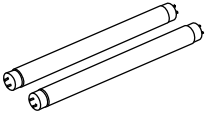
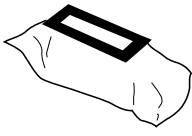
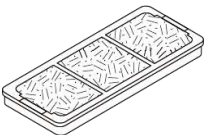
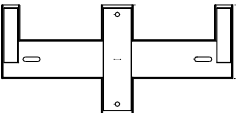
専用ポール台
(オプション品)

2.3 仕様

2.3.1 製品仕様

項目	内容
名称	クリンエコラインGXmini
寸法	(幅) 435 mm × (高さ) 495 mm × (奥行) 190 mm
質量	約 10 kg (壁付け金具別)
誘虫灯	10 W × 2 灯 (FL10SBL)
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	45 W
捕虫方式	ファンによる吸引式、捕虫袋
設置方法	壁付け／直置き／専用ポールに取り付け (オプション品)
使用温度／湿度	5 ～ 35 ℃／湿度 80 %RH以下 (結露しないこと)

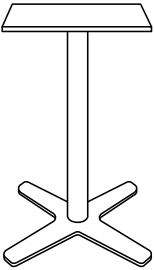
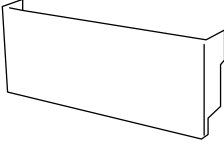
2.3.2 付属品

名称	外観	説明
誘引剤 (消耗品)		ネイテクノ・ルアーBSパック ×10包 主成分：タケノコ抽出成分 対象害虫： 大型バエ類 (イエバエ類、ニクバエ類) コバエ類 (ショウジョウバエ類他)
誘虫灯 (消耗品)		10 W × 2 灯 (FL10SBL) ※飛散防止タイプは、飛散防止膜付ランプが 付属しています。
捕虫袋 (消耗品)		不織布 (使い捨て) ×5枚／袋
フィルター (消耗品)		排気空気の清浄用フィルター×3
壁付け金具		1 個 ※ビスは、添付していません。壁材に合わせ て、別途ご準備ください。
鍵		センターカバー施錠用の鍵 ×2
取扱説明書	本書	1冊

参 照

消耗品の商品コード、商品名、仕様などは、「8 消耗品、オプション品リスト」を参照してください。

2.3.3 オプション品

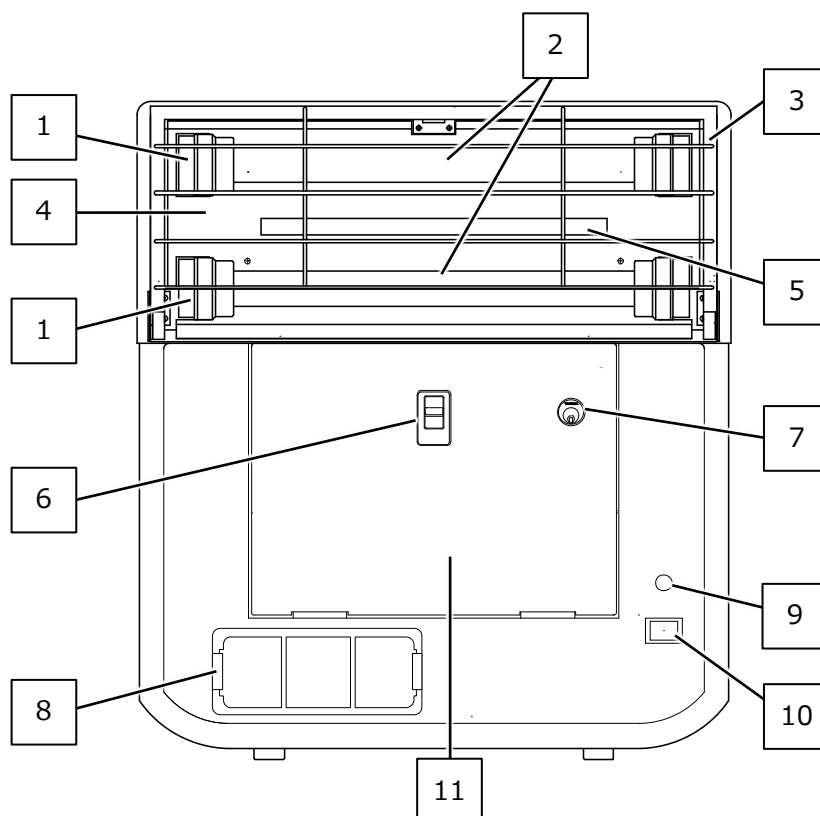
名称	外観	説明
クリンエコラインGXmini用 ポール台		寸法：W 420 × H 620 × D 420 mm 質量：約 7 kg ベース：アルミ（アジャスター付） 台・ポール：スチール 塗装：シルバー粉体塗装
クリンエコラインGXmini用 目隠しカバー		寸法：W 418 × H 160 × D 60 mm 質量：約 200 g 素材：アクリル樹脂

参 照

オプション品の商品コード、商品名、仕様などは、「8 消耗品、オプション品リスト」を参照してください。

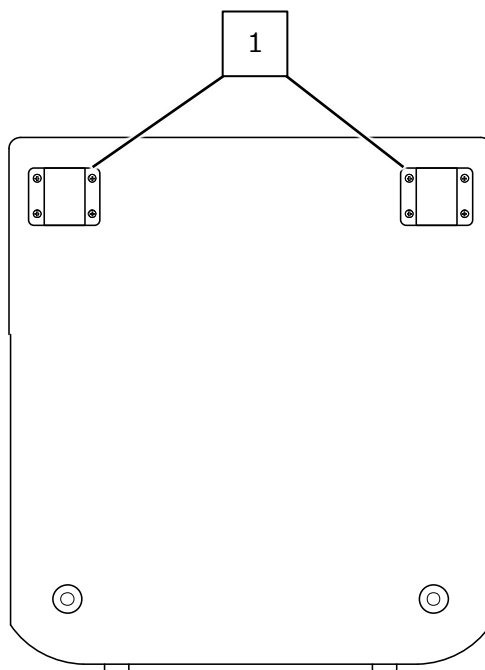
2.4 各部の名称とはたらき

2.4.1 本体正面



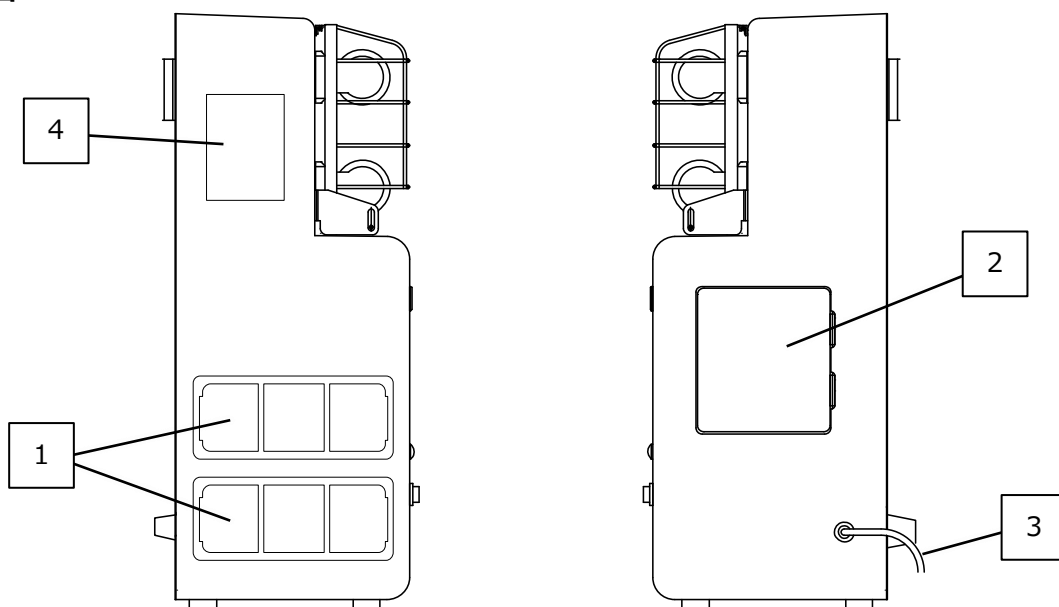
No.	名称	説明
1	蛍光灯ソケット	誘虫灯を差し込みます。
2	誘虫灯	捕虫器用蛍光ランプ（10 W ×2本）です。 仕様により、飛散防止膜付きのランプもあります。
3	保護格子	誘虫灯を保護します。
4	反射板	誘虫灯の光を反射し、誘虫効果を高めます。
5	吸引口	内部の吸引ファンにより、ここから虫を吸引します。
6	センターカバーロック	センターカバーを開けるときに、このつまみを下げます。
7	鍵穴	センターカバー施錠用の鍵を差し込む穴です。
8	フィルター	排気空気の清浄用です。
9	電源ランプ	稼働時に点灯します。
10	電源スイッチ	動作の開始／停止を行うスイッチです。
11	センターカバー	捕虫袋や誘引剤を交換する際に開けます。

2.4.2 本体背面



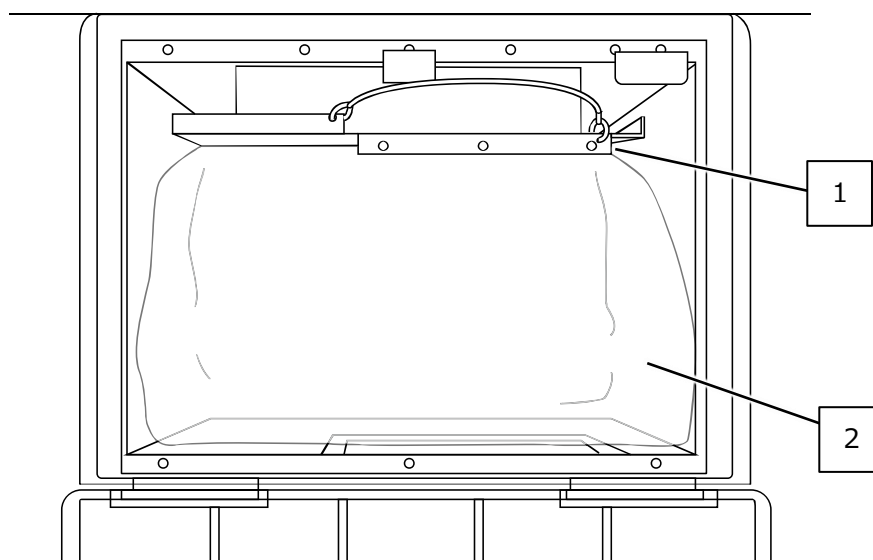
No.	名称	説明
1	壁付けフック	壁付け金具を差し込みます。

2.4.3 本体側面

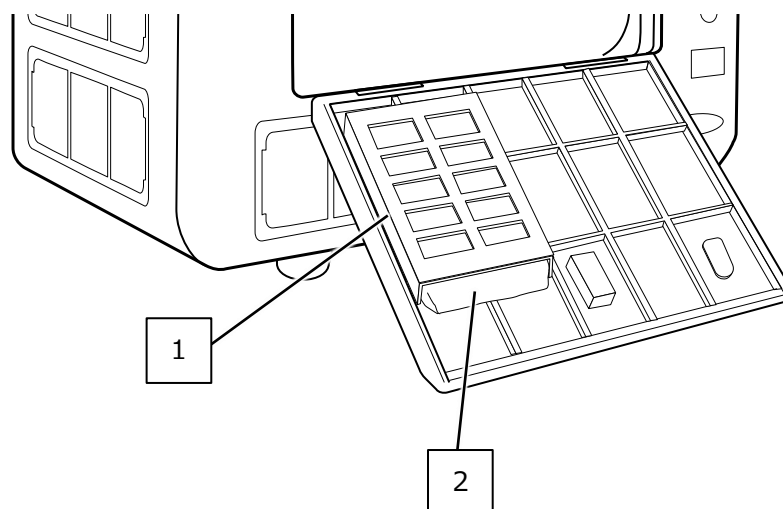


No.	名称	説明
1	フィルター	排気空気の清浄用です。
2	操作カバー	内部に電源周波数切替スイッチ、ヒューズがあります。
3	電源コード	電源供給用の配線です。
4	製品銘板	製品の名称、定格、製造番号、適合規格などが記載されています。

2.4.4 センターカバー内



No.	名称	説明
1	捕虫袋固定クリップ	捕虫袋を固定する金具です。
2	捕虫袋	捕獲した虫が入ります。虫の逃走を防止するため、捕虫袋は二重構造となっています。



No.	名称	説明
1	誘引剤ポケット	誘引剤を収納するポケットです。
2	誘引剤	虫が好む成分（タケノコ抽出成分）の入った袋です。

2.4.5 操作カバー内



No.	名称	説明
1	電源周波数切替スイッチ	ご利用になる地域の電源周波数に切り替えるスイッチです。
2	ヒューズ	ヒューズ交換の場合は、この蓋を反時計回りに回してヒューズ（125 V、4 A）を取り出してください。

3 設置

3.1 設置の前に

3.1.1 設置の注意事項

設置にあたっては、下記の事項をお守りください。

 警告	 ・本製品の定格電圧は、100 V です。定格以外の電源を供給しないでください。
	 ・壁に取り付ける場合は、十分強度のある場所を選び、確実に設置してください。壁材に合わせて適切なアンカー、ビスを選んで取り付けてください。
 注意	 ・薬品や有害なガスなどの影響を受ける環境では使用しないでください。本製品が腐食するおそれがあります。また、有害な薬品が付着することにより人体に害をおよぼすおそれがあります。 ・本製品を横置きで使用しないでください。本製品は縦置きで使用するよう設計されています。 ・持ち運びの際は保護格子を持たないようにしてください。また、フィルター部に手をかけないようにしてください。
	 ・人や物がぶつからない場所および高さに設置してください。 ・本製品は屋内に設置してください。

屋内であっても、以下のような場所では使用しないでください。

使用温度、使用湿度の範囲外になる場所

使用温度範囲：5 ～ 35 ℃、使用湿度範囲：80 %RH 以下（結露しないこと）

水（導電性液体）により絶縁性能の劣化が発生する危険のある場所

噴霧水、水蒸気などのかかる場所に設置すると、絶縁性能の劣化、腐食などによる感電、火災のおそれがあります。

振動の激しい場所

故障または本体が落下するおそれがあります。

粉塵が多い場所

粉塵の多い場所に設置すると、吸引ファンの性能低下またはフィルターの目詰まりにより、捕虫能力が落ちるおそれがあります。

直射日光が当たる場所

故障や変形の原因になります。

粘着性の物がある場所

粘着性の高い物質から出る蒸気を長期間吸引すると、ファンが故障する可能性があります。

例：粘着性の高い食材を扱う製造工程、処理工程（糖蜜製造工程、佃煮製造工程など）

ぐらついた台の上、傾いた場所、不安定な場所での使用

けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。

可燃性ガスなどにより、爆発する危険のある場所

本品は防爆仕様ではありません。可燃性ガス雰囲気では使用しないでください。

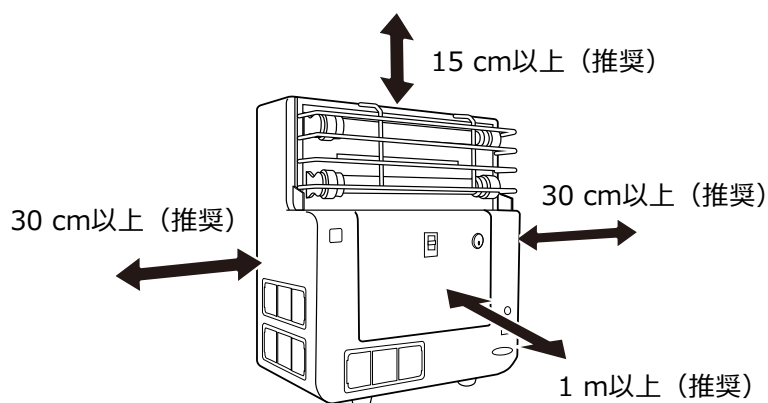
腐食性ガスなどにより、絶縁性能の劣化が発生する危険のある場所

腐食性ガスや溶液の発散する場所（※）に設置すると、絶縁性能の低下または導電性能が劣化し、感電や火災のおそれがあります。

※ 酸・アルカリ類、塩素酸、さらし粉、塗料もしくは、人造肥料の製造工場、銅・亜鉛などの製錬所、電気メッキ工場またはこれらに類する場所

3.1.2 設置スペース

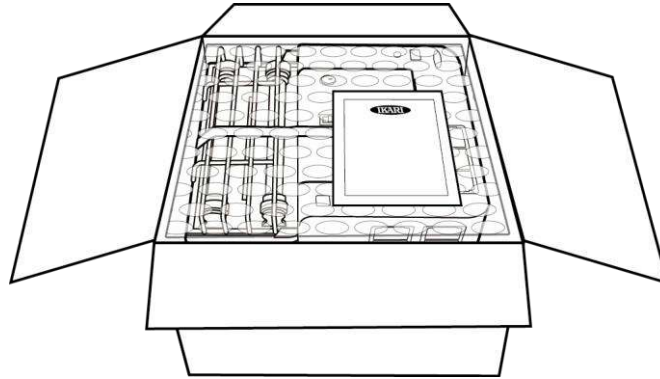
本製品の前、横、上部は、以下のスペースを空けてください。



3.1.3 開梱と梱包品の確認

本製品は、段ボールにビニールおよび緩衝材で保護された状態で梱包して出荷します。

製品到着後は段ボールを開けて、製品本体と共に「2.3.2 付属品」に記載されている品物がすべて揃っていることを確認してください。



注記



- 開梱時に本体の破損や付属品の欠品がある場合は、設置や使用をしないで当社までご連絡ください。
- 開梱後の段ボールや緩衝材は、再輸送のために保管しておくことを推奨しますが、廃棄する場合は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。
- 修理や移送のため再梱包する場合は、納入時と同等に段ボールの中に緩衝材を入れて、輸送中に破損しないように注意してください。

3.2 設置の方法

3.2.1 壁に取り付ける場合

 警告	 ・ 壁付け金具は、必ず付属の物を使用してください。付属品以外の金具を使用すると、本体の破損や落下によるけがを招くおそれがあります。 ・ 壁に取り付ける場合は、原則として専門工事業者に依頼してください。 ・ 壁付け金具は、必ず下地材または建物躯体にアンカーを打って取り付けてください。ボード類など仕上げ材料のみに取り付けると、落下のおそれがあります。
---	--

取り付けに先立ち、以下に記載している、壁の仕上げ材料、下地の材料、建物躯体の状況を確認してください。

確認後は、付属の壁付け金具に緩みのないよう、適切な方法で取り付けてください。

※壁付け金具に、ビスは添付していません。壁材に合わせて、別途ご準備ください。

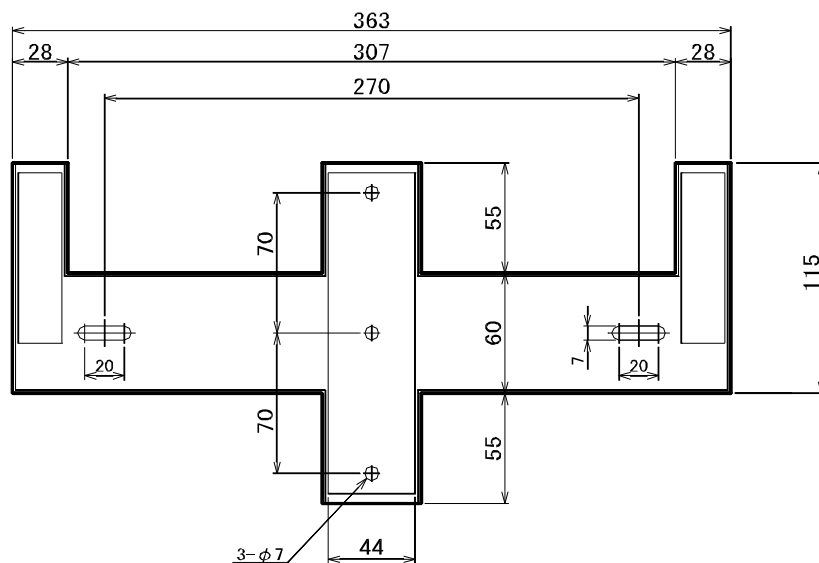
各下地に共通する確認事項

- ・ 下地に最適なビス、ボルト類を選定する（φ5 mm以上を使用してください）
- ・ ビス、ボルト類の強度は施工の良否により異なるので正確に取り付ける
- ・ 下地材の材質、位置を測定器などにより確認する
- ・ 仕上げ材、下地材、躯体などが確認できないときは、必ず図面で確認する
- ・ ビス、ボルト類の設計強度は、表示強度の5分の1程度とする
- ・ 地震時にも落下しないよう、横揺れにも配慮する
- ・ スプリンクラー・報知器など、消防設備のそばには取り付けない

下地別取り付け確認事項

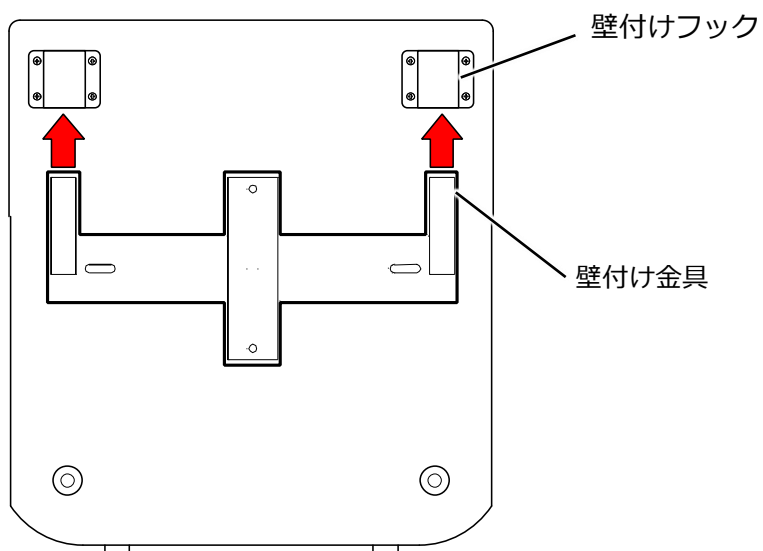
- ・ コンクリート躯体に直接取り付けの場合
直接ビス、ボルト類にて固定する
- ・ コンクリートにモルタル仕上げの場合
モルタル仕上げに浮きがないかを確認し、コンクリートに達するビス、ボルト類にて直接固定する
- ・ コンクリートにプラスターボードが貼られている場合（GL工法）
コンクリートに達するビス、ボルト類にて直接固定する。または、取り付け用下地板をビス、ボルト類にて固定し、それに壁付け金具を取り付ける
- ・ 軽量鉄骨間仕切り下地
下地位置を確認し、ビス、ボルト類にて固定する
- ・ ALC板下地（ALC：軽量発泡性コンクリート）
ALC板はもろいため、貫通型の座金付アンカー類で固定する。または、取り付け用下地板をビス、ボルト類にて固定し、それに壁付け金具を取り付ける
- ・ 特殊な材料に取り付ける場合は材料メーカーと協議する

壁付け金具の形状・サイズ (mm)



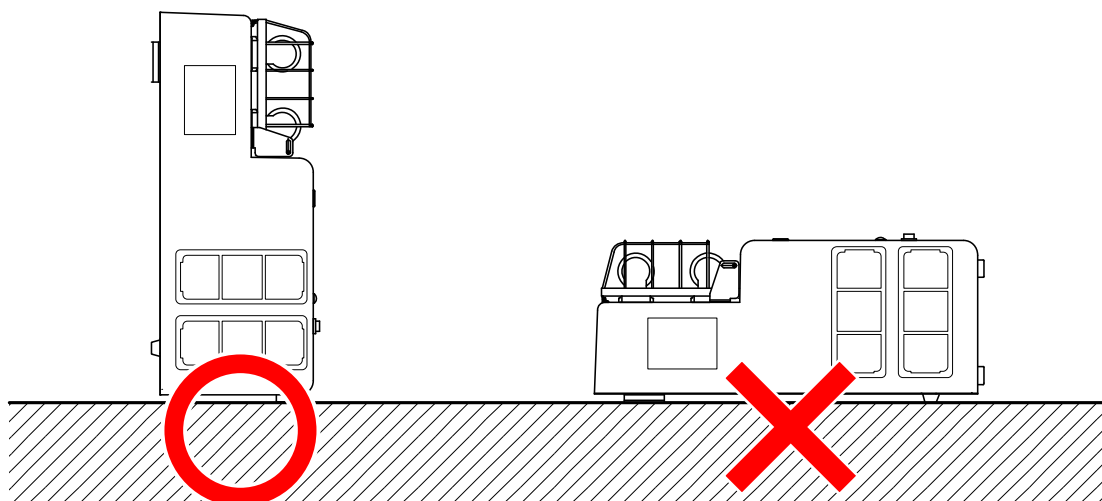
本体の取り付け

壁付け金具を壁に固定した後、壁付け金具に壁付けフックをしっかり差し込んでください。



3.2.2 直置きの場合

本体の設置に適する場所を選定し、立てた状態で置いてください。

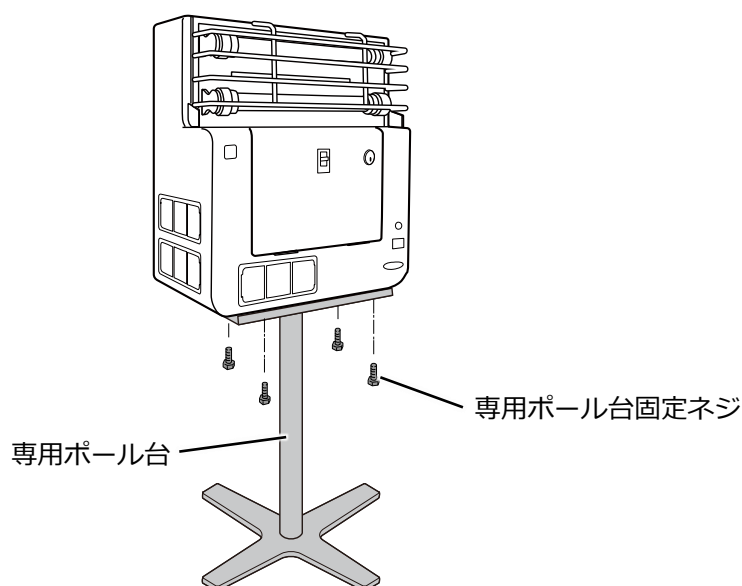


3.2.3 ポール台（オプション品）

クリンエコラインGXmini用ポール台（オプション品）を使用の場合は、専用ポール台下面からネジ4本で固定してください。（詳細は、専用ポール台に添付の取扱説明書を参照）



- ・専用ポール台は、必ず振動のない、平らな場所に設置してください。専用ポール台の脚部は、床に固定することができません。振動や傾きのある場所に置くと、転倒のおそれがあります。



3.2.4 目隠しカバー（オプション品）

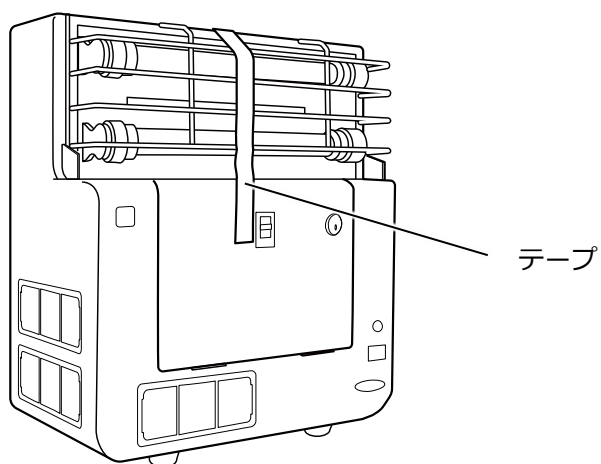
クリンエコラインGXmini用目隠しカバー（オプション品）を使用の場合は、保護格子に目隠しカバーを取り付けてください。（詳細は、目隠しカバーに添付の取扱説明書を参照）

4 使用方法

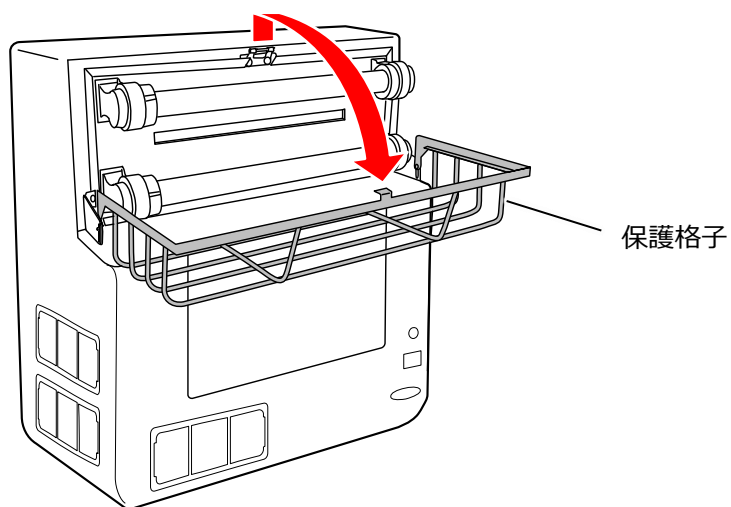
4.1 ご使用前の準備

4.1.1 誘虫灯の装着を確認する

- 1 出荷時、保護格子はテープで留めてありますので剥がします。



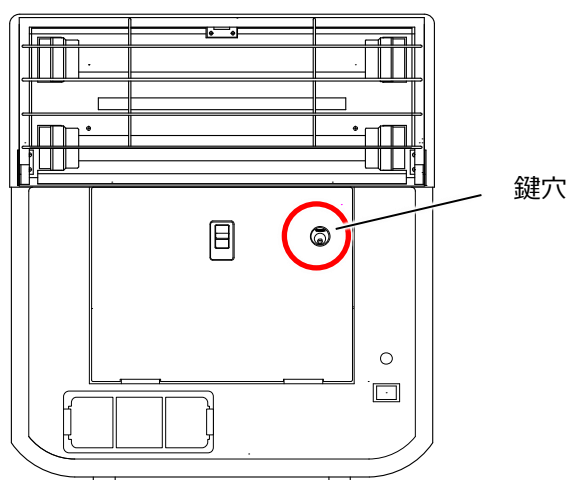
- 2 保護格子を5 mm程持ち上げて上部フックを外し、手前に開きます。



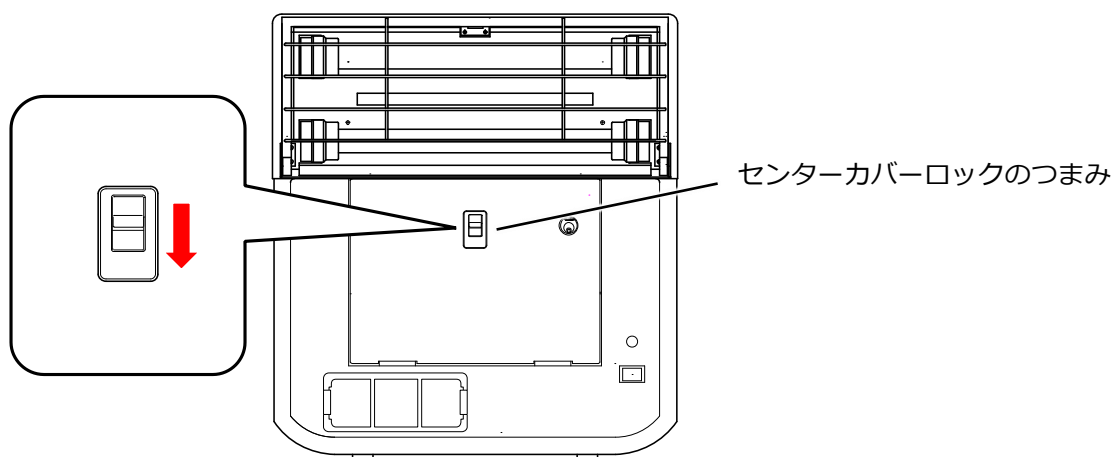
- 3 誘虫灯が外れていないか、ぐらつきがないか確認します。
- 4 保護格子を元どおりに取り付けます。

4.1.2 捕虫袋をセットする

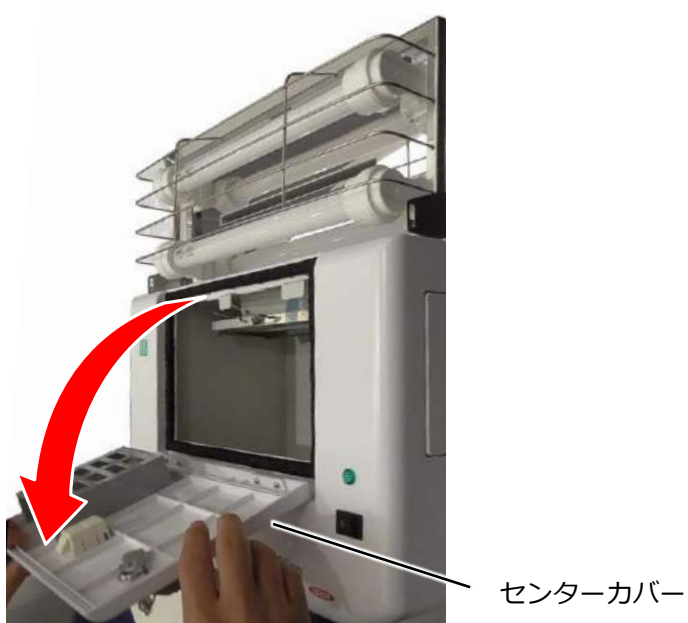
- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。



- 2 センターカバーロックのつまみを下げて、センターカバーロックを外します。



- 3 センターカバーを手前に開けます。



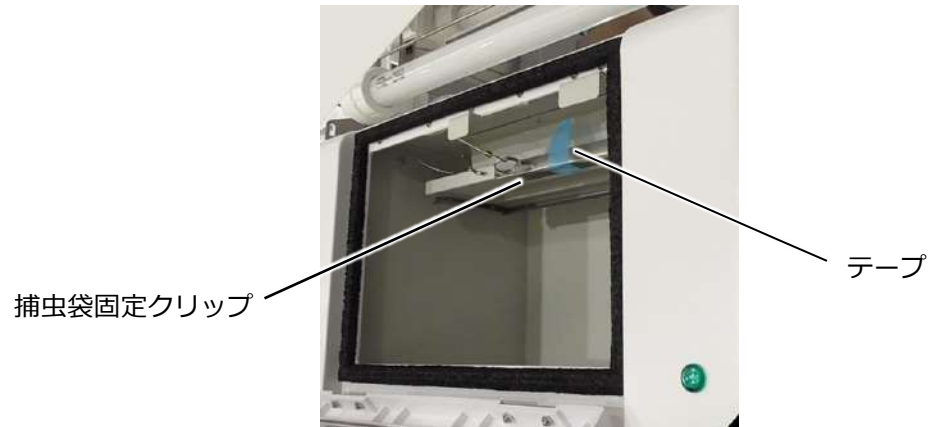
- 4 出荷時は、捕虫袋固定クリップをテープで留めてありますのでテープを剥がして、捕虫袋固定クリップを取り外します。



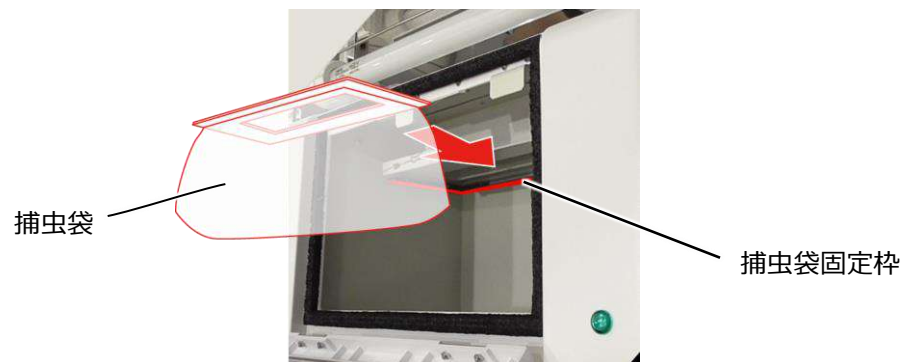
注意



・捕虫袋固定クリップのエッジ部で、指などを切らないように注意してください。

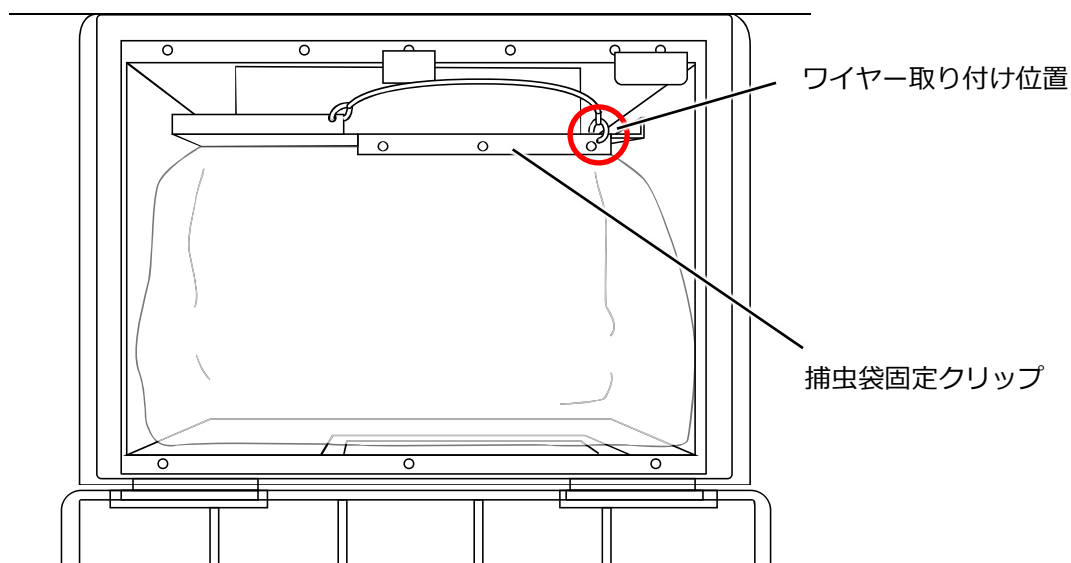


- 5 捕虫袋を捕虫袋固定枠に沿って差し込みます。



6 捕虫袋固定クリップで捕虫袋を留めます。

メモ このとき、捕虫袋固定クリップのワイヤー取り付け位置が右側になるように取り付けてください。



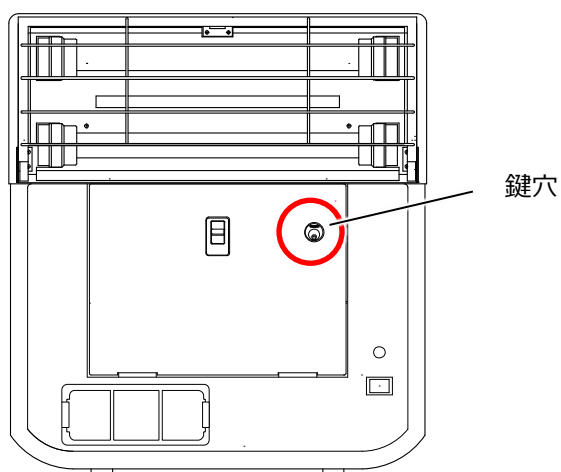
7 センターカバーを閉めます。

メモ このとき捕虫袋をはさまないようにご注意ください。

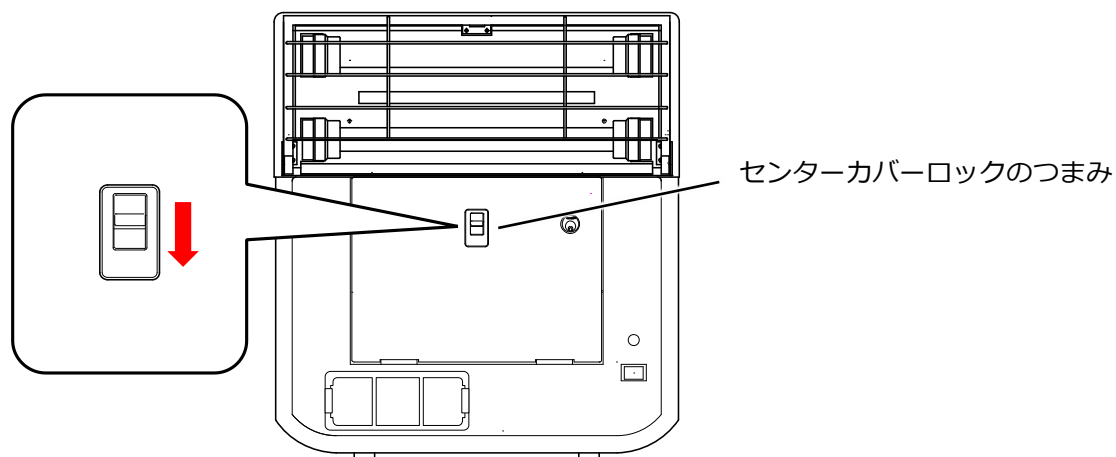
8 ロックをするときは、手順2と手順1の逆の操作をしてください。

4.1.3 誘引剤をセットする

1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。

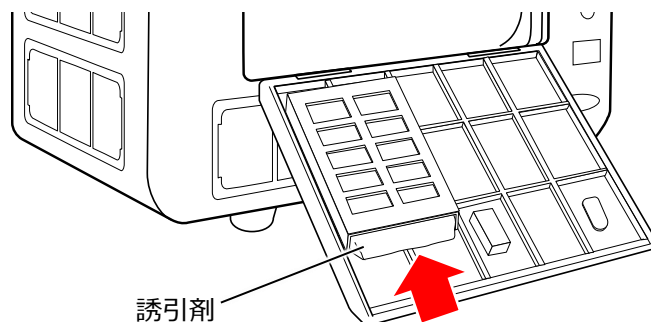


2 センターカバーロックのつまみを下げて、センターカバーロックを外します。



3 センターカバーを手前に開けて、誘引剤ポケットへ誘引剤（１～２包）をセットします。

メモ 不織布の袋は破らずに、そのままご使用ください。



4 センターカバーを閉めてください。

メモ このとき捕虫袋をはさまないようにご注意ください。

5 ロックをするときは、手順2と手順1の逆の操作をしてください。

参照 誘引剤の取り扱いは、付属品のネイテクノ・ルアーBSパックのラベルを参照してください。

4.1.4 電源周波数切替スイッチを確認する

**注意**

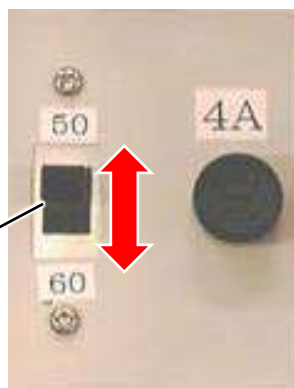
・必ずご使用地域の周波数を確認の上、電源周波数切替スイッチを設定してください。間違った周波数で使用すると、安定器の発熱や故障の原因となります。

初めてご使用になる際は、操作カバーを開けて電源周波数切替スイッチがご使用地域の周波数に合っているか確認してください。ご使用地域の周波数と異なる場合は、スイッチを切り替えてください。

メモ

日本国内では、東側は50 Hz、西側は60 Hzの電気が供給されていますが、一部の地域では、異なる場合もあります。ご不明な場合は、ご契約の電力会社にお問い合わせください。

電源周波数切替スイッチ



電源周波数の設定方法

1 操作カバーを開けます。

カバー右端をカチッという音がするまで押してから手を引くと、ばねの働きでカバーが開きます。磁石で留まっている場合はさらに手前に開いてください。

2 電源周波数スイッチの設定を設置場所の地域に合わせて切り替えます。

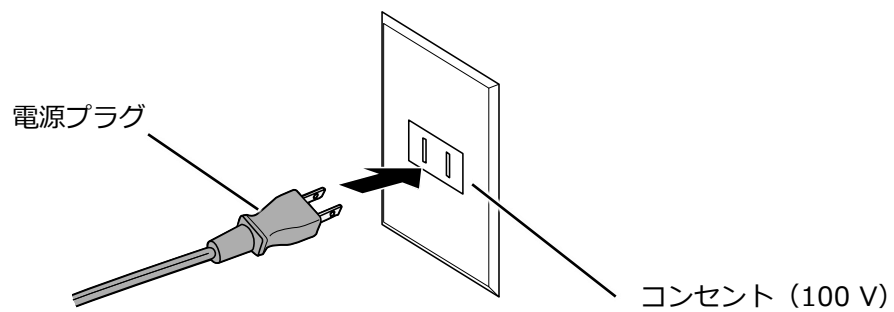
3 操作カバーを閉めます。

カバーを閉めるときは、カバー右端をカチッという音がするまで押してください。

4.1.5 コンセントに電源プラグを差し込む

 警告	 ・濡れた手で本体、電源プラグやコンセントに触れないでください。感電などの事故の原因になります。
---	---

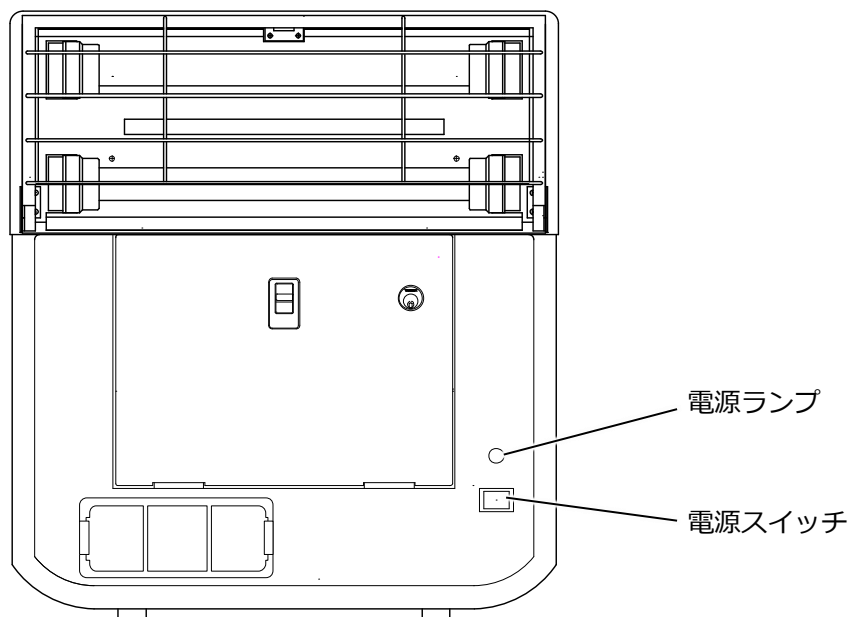
100 Vのコンセントに電源プラグを差し込んでください。



4.2 起動方法

- 1 電源スイッチを入れる前に、「4.1 ご使用前の準備」の記載項目が完了していることを確認します。
- 2 本体前面の左側の電源スイッチをON（|）にしてください。

メモ 稼働中は、電源ランプが点灯します。



- 3 ファンが運転を開始し、誘虫灯が点灯していることを確認します。

メモ ファンが回転しない、誘虫灯が点灯しないなどの不具合がある場合は、無理に使用せず、「6 こんなときは」を参照し、対策をとってください。

4.3 停止方法

- 1 本体前面の左側の電源スイッチをOFF（○）にしてください。

メモ 電源ランプ、誘虫灯が消灯し、ファンが停止します。

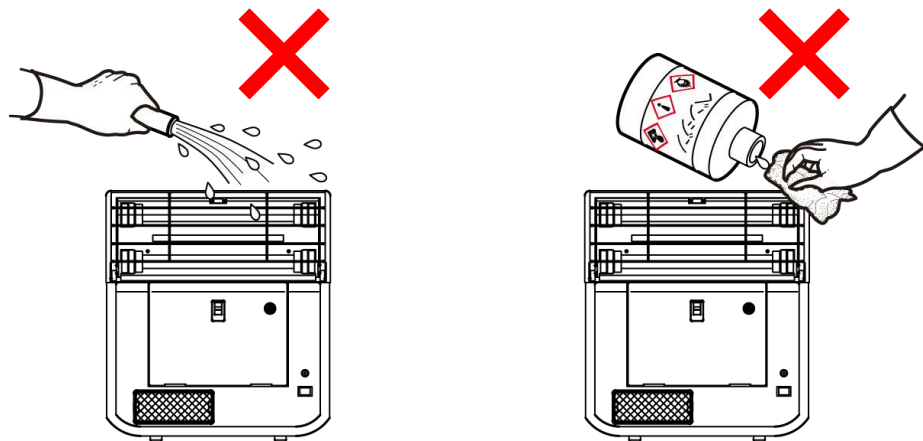
5 点検・保守

5.1 本体の清掃

点検・保守の周期：毎日

清掃方法

 警告	 ・ 本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 ・ 蛍光灯ソケットの樹脂部には、水・洗剤・薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。
注記	 ・ 本体表面をガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変形の原因となります。



製品の汚れは乾いた布、またはぬるま湯・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞って拭いてください。最後は乾燥した布で水分をふき取ってください。

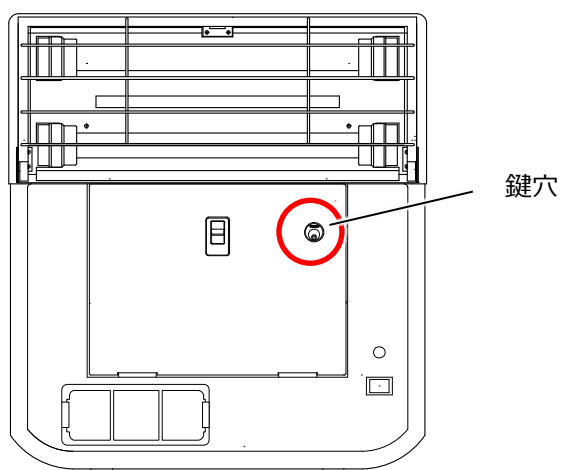
5.2 捕虫袋の交換

点検・保守の周期：1か月ごと（捕獲量などにより決めてください。）

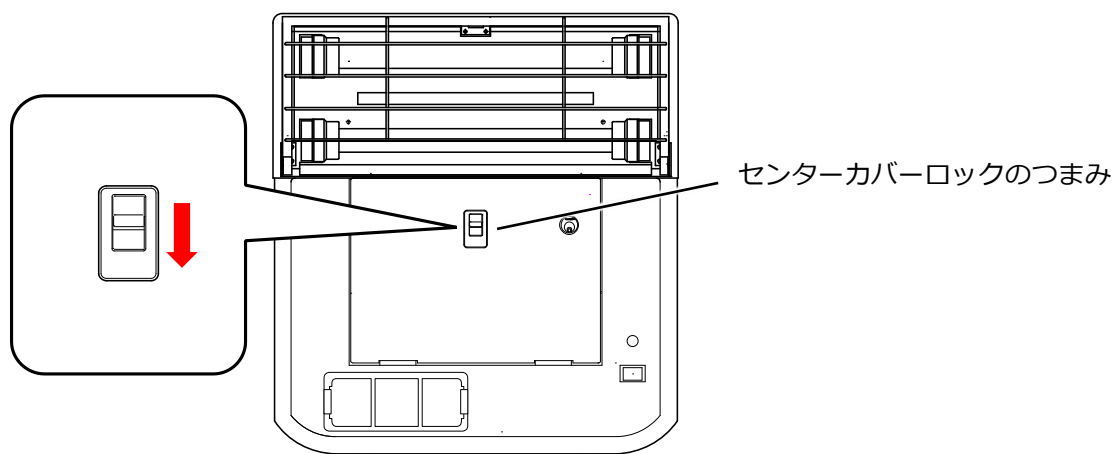
警告	 ・ 捕虫袋を交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
注意	 ・ 捕虫袋固定クリップのエッジ部で、指などを切らないように注意してください。
注記	 ・ 虫の入った捕虫袋をそのまま持ち歩かないでください。虫体や破片が飛散するおそれがあります。 ・ 捕虫袋の回収時は、チャック付ポリ袋や大きめのポリ袋など、口が閉じられる袋に回収してください。
	 ・ 捕虫袋は、必ずクリンエコライン GXmini 専用の捕虫袋をご使用ください。

交換方法

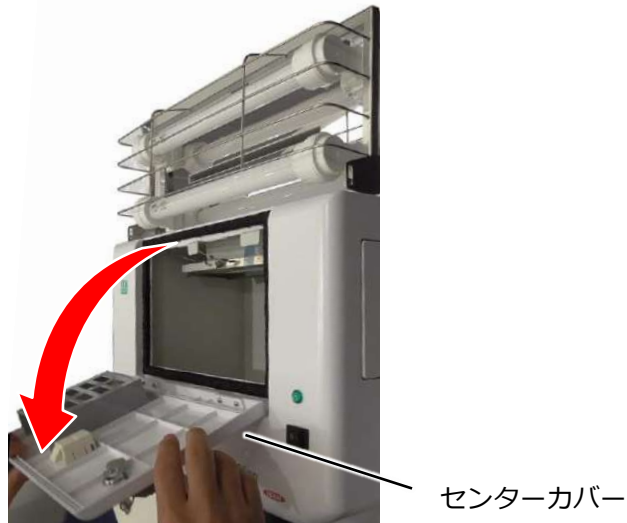
- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。



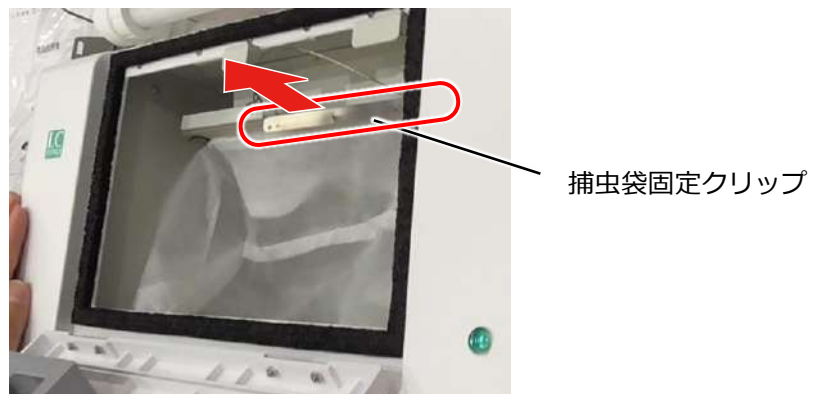
- 2 センターカバーロックのつまみを下げて、センターカバーロックを外します。



3 センターカバーを手前に開けます。



4 捕虫袋固定クリップを外します。



5 古い捕虫袋を手前にスライドさせて取り出します。



6 取り出した捕虫袋を廃棄する場合は、チャック付ポリ袋などに回収します。

7 オプションのクリンエコラインGXⅡ用捕虫袋（ジッパー付）を使用する場合は、ジッパーを開けて虫を掃除します。汚れがある場合は、洗浄して再利用できます。

注記



・ 捕虫袋を洗浄した後は、完全に乾かしてから再利用してください。

8 「4.1.2 捕虫袋をセットする」を参照し、新しい捕虫袋をセットします。

以上で捕虫袋の交換は完了です。

5.3 フィルターの洗浄と交換

点検・保守の周期：洗浄は、1か月ごと。（交換は、汚れ具合により決めてください。）

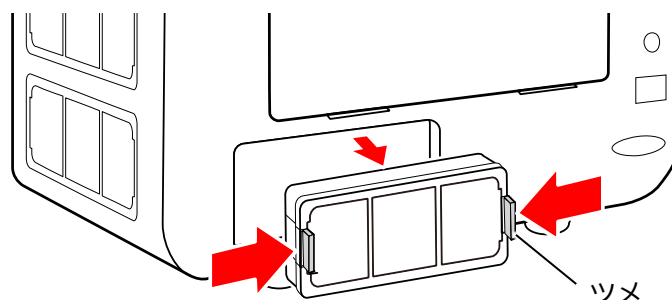
※再利用の限度は3回程度が目安です。

警告	 ・フィルターを交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
注記	 ・回収時は塵埃などの飛散防止のため、口が閉じられる袋に回収するようにしてください。  ・フィルターは、目視で汚れがない場合でもほこりなどで目詰まりし、吸引力の低下やファンが故障する原因となります。フィルターの点検・保守の周期にそって、洗浄と交換を行ってください。 ・フィルターを洗浄する場合は、もみ洗いしたり強く絞ったりしないでください。

交換方法

フィルターは、左側面と前面にあります（計3箇所）。フィルター交換は、3箇所ともに行ってください。

- 1 ツメを内側に押しながら、フィルターケースを取り出します。

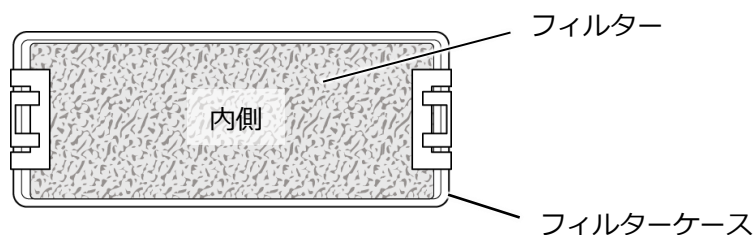


- 2 汚れている場合は、中性洗剤などを使用して洗浄します。
汚れや劣化が著しい場合は、新しいフィルターと交換してください。

注記	 ・フィルターを洗浄した後は、完全に乾かしてから再利用してください。
-----------	---

- 3 新しいフィルターをフィルターケースに装着します。

メモ 手触りのやわらかい面（目の粗い面）が製品の内側になります。



4 フィルターケースを本体に装着します。

メモ

このとき、ケースが確実にロックされるよう、ケースのツメ側を「カチッ」と音がするまで本体に押し付けてください。ツメを目視して、確実にロックされているか確認してください。

以上でフィルターの交換は完了です。

5.4 誘虫灯の交換

点検・保守の周期：3か月ごと※

※誘虫灯の定格寿命は、3,500時間（4か月）ですが、寿命間近の誘虫灯は新品に比べて誘引効果が大幅に減少しているため、3か月ごとの交換を推奨します。



警告



- ・ 誘虫灯を交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。電源を OFF にした直後は誘虫灯が熱いのでご注意ください。



注意



- ・ 誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。

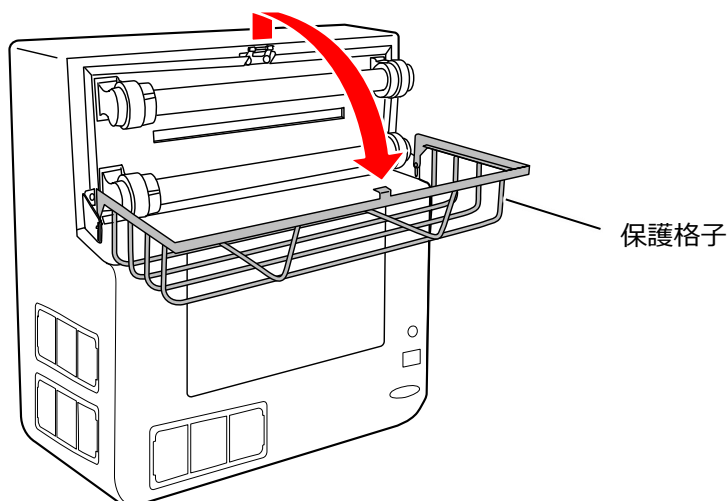
注記



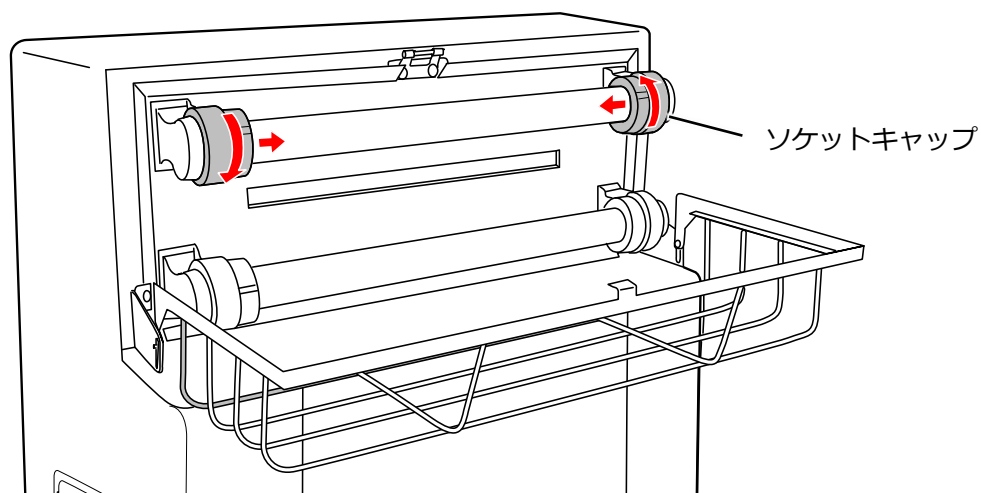
- ・ 誘虫灯は、必ず当社指定の物を使用してください。指定外の物を使用すると、誘虫灯の寿命短縮や本製品の故障の原因となります。

交換方法

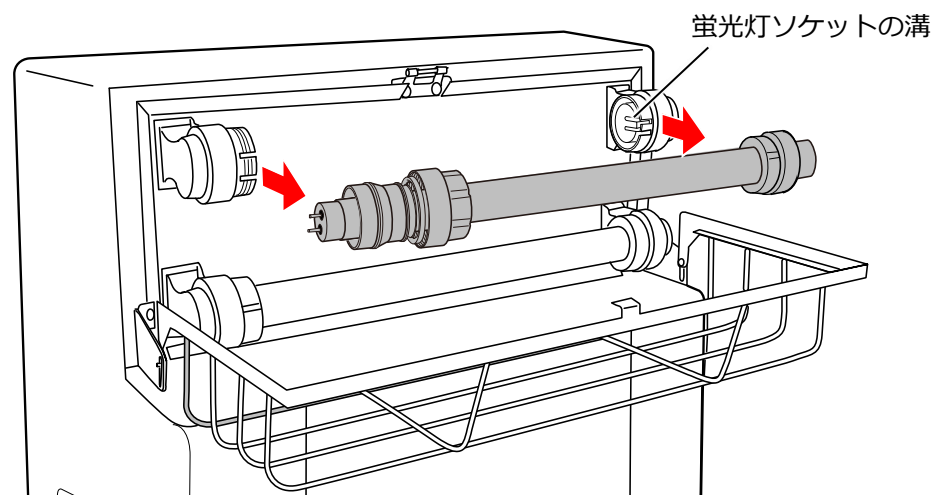
- 1 保護格子を5 mm程持ち上げて上部フックを外し、手前に開きます。



- 2 誘虫灯の左右にあるソケットキャップを、反時計回りに回して外します。

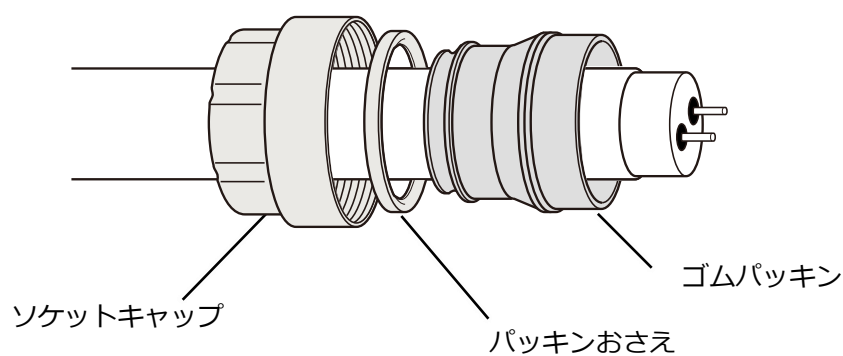


- 3 誘虫灯の端子を蛍光灯ソケットの溝に沿って引き出します。

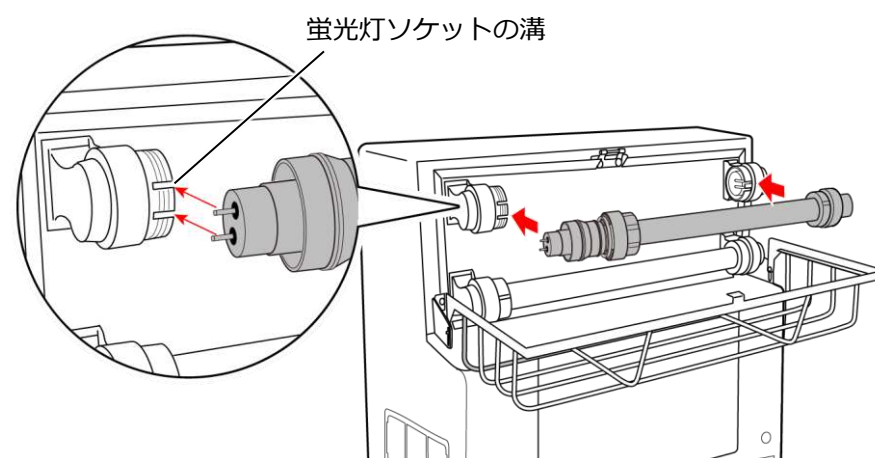


- 4 新しい誘虫灯に、ソケットキャップ、パッキンおさえ、ゴムパッキンの順に通します。

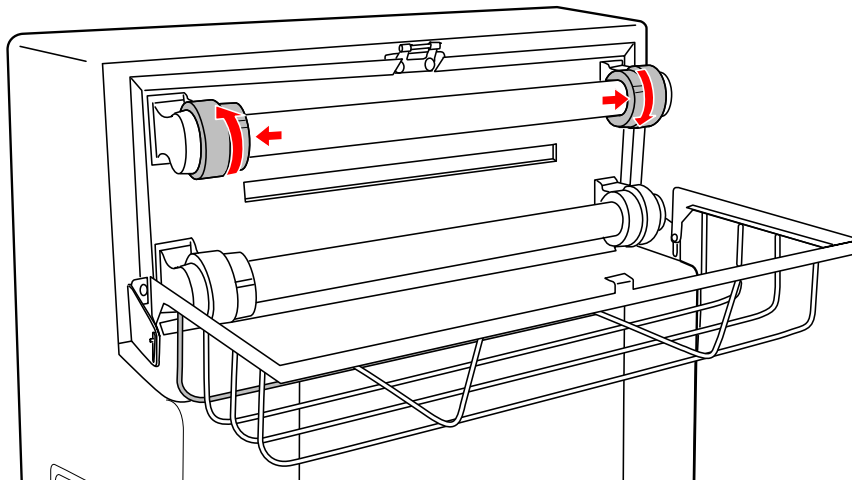
メモ パッキンおさえに前後はありません。



- 5 誘虫灯両端のピンを蛍光灯ソケットの溝に入れ「カチッ」と音がするまで押し込み、誘虫灯を装着します。



- 6 誘虫灯が外れていないか、また、ぐらつきがないか確認します。
- 7 誘虫灯の左右にあるソケットキャップを、時計回りに回して締めます。



- 8 もう1本の誘虫灯も同様に交換します。
- 9 保護格子を元どおりに取り付けます。

以上で誘虫灯の交換は完了です。

5.5 誘引剤の交換

点検・保守の周期：1か月（1～2個）

※誘引剤の取り扱いは付属ネイテクノ・ルアーBSパックのラベルを参照してください。



警告



・ 誘引剤を交換するときは、電源スイッチを OFF（O）にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。

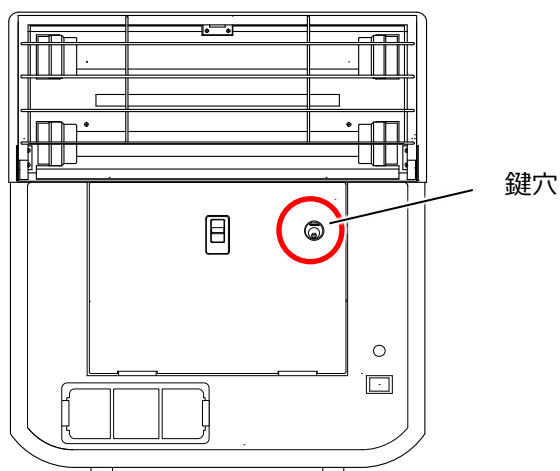
注記



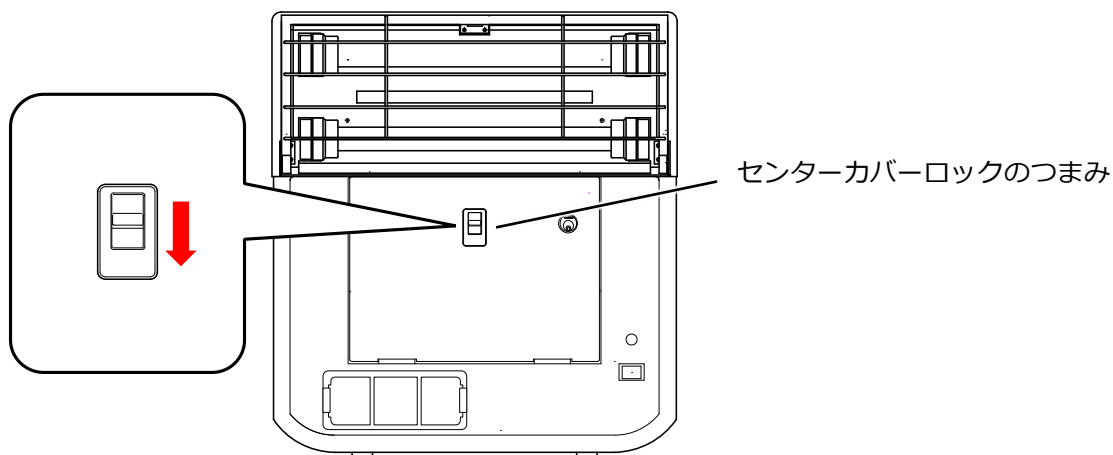
・ 誘引剤は、イカリ消毒オリジナル（ネイテクノ・ルアーBS パック）を使用してください。

交換方法

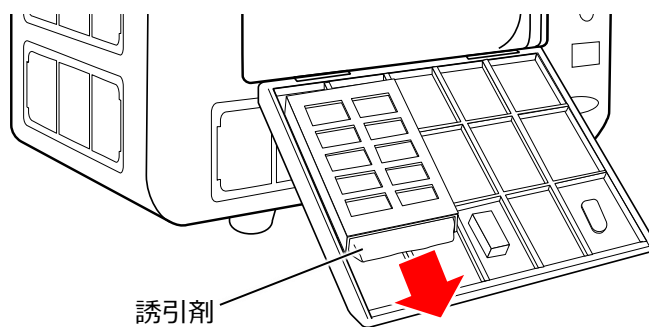
- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。



- 2 センターカバーロックのつまみを下げて、センターカバーロックを外します。

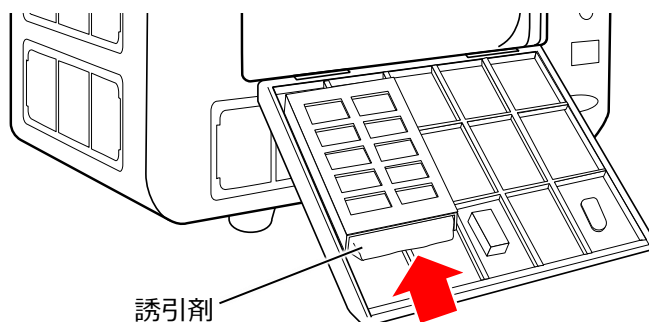


- 3 センターカバーを手前に開け、センターカバー裏にある誘引剤ポケットから古い誘引剤を取り出します。



- 4 取り出した誘引剤を、チャック付ポリ袋などに入れて回収します。
- 5 誘引剤ポケットへ新しい誘引剤（1～2包）を入れます。

メモ このとき、袋が破けたりしないよう注意してください。



- 6 捕虫袋をはさまないように注意しながら、センターカバーを閉めます。

メモ センターカバーロックが掛かっていることを確認してください。

以上で誘引剤の交換は完了です。

5.6 ヒューズの交換

点検・保守の周期：ヒューズが切れたとき



警告



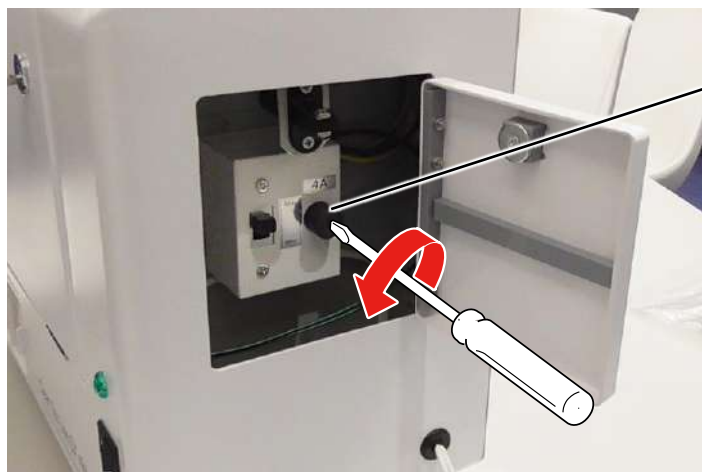
・ヒューズを交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。

交換方法

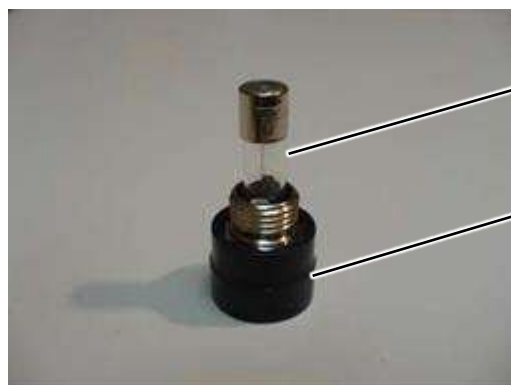
1 操作カバーを開けます。

カバー右端をカチッという音がするまで押してから手を引くと、ばねの働きでカバーが開きます。磁石で留まっている場合はさらに手前に開いてください。

2 マイナスドライバーを使用し、ヒューズケース蓋を反時計回りに回して取り外します。



3 ヒューズケースから古いヒューズを取り外し、新しいヒューズを取り付けます。



4 ヒューズおよびヒューズケース蓋をヒューズホルダーに差し込みます。

5 マイナスドライバーを使用し、ヒューズケース蓋を時計回りに回して締めます。

6 操作カバーを閉めます。

カバーを閉めるときは、カバー右端をカチッという音がするまで押してください。

以上でヒューズの交換は完了です。

6 こんなときは

本製品を運用中に下表に記載の現象が発生した場合は、原因と対策を参照の上、適切に対処してください。

下表に記載の対処を行っても解決しない場合や、下表に記載のない不具合が発生した場合は、運用を停止し、当社にご連絡ください。

注記	 ・ 輸送時の取り扱いの不備が考えられる場合（開梱時に梱包箱の外傷や本体の変形が見られた場合など）は、製品到着後 1 週間以内に輸送業者に連絡を取り、輸送状況を確認してください。輸送業者に瑕疵が無い場合は、当社までご連絡ください。
-----------	---

No.	現象	原因	対策
1	スイッチをONにしてもファンが動かず、ランプも点灯しない	コンセントが差し込まれていない	コンセントを確認し、電源プラグが正しく差し込まれていない場合は、差し直してください。
		電源が供給されていない	コンセントまで電気が供給されているか確認してください。他の機器が使えるか、または元電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
		ヒューズが切れている	操作カバーを開け、ヒューズが切れていないか確認してください。 「5.6 ヒューズの交換」参照
2	スイッチをONにしても誘虫灯が点灯しない（ファンは動く）	誘虫灯が蛍光灯ソケットにしっかりはまっていない	誘虫灯が蛍光灯ソケットにしっかりはまっているか確認してください。しっかりはまっていない場合は、いったん誘虫灯を取り外してはめ直してください。 「5.4 誘虫灯の交換」参照
		誘虫灯が切れている	誘虫灯をはめ直しても点灯しない場合は、誘虫灯が切れている可能性があります。その場合は、新しい誘虫灯に交換してください。 「5.4 誘虫灯の交換」参照
		点灯管切れまたは内部の不具合	上記の対策を行っても点灯しない場合は、点灯管切れ、または内部の不具合が考えられますので、当社にご連絡ください。
3	異音、異臭がする	ファンや電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。

7 製品の保管および廃棄

7.1 長期間使用しない場合の保管について

本製品を長期間使用しない場合は、以下の事項を守ってください。

- ・ 誘引剤および捕虫袋を取り出して保管してください。
- ・ 「3.1.1 設置の注意事項」に記載している設置条件と同等の場所に保管してください。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

長期保管後に再使用する場合は、以下の点検を行ってください。

- ・ ほこりの堆積やかびの発生などがないか確認してください。特に誘虫灯に汚れがあると捕虫効果が落ちますので、ご注意ください。
- ・ 誘引剤、捕虫袋、フィルターは新しい物をセットしてください。

7.2 製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、誘引剤、捕虫袋、フィルター、誘虫灯を取り出してください。

製品本体、構成部品、消耗品の廃棄処分は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

環境保全のため、不法投棄は絶対にしないでください。

8 消耗品、オプション品リスト

消耗品、オプション品をご用命の際は、下表の商品コードおよび商品名をご確認の上、当社までご連絡ください。

8.1 消耗品

商品コード	商品名	仕様	備考
3169	誘虫灯（10 W）	10 W	1台に2本使用
2745	飛散防止誘虫灯（10 W）	10 W 飛散防止膜付き	1台に2本使用
18953	クリンエコラインGXmini用 捕虫袋（不織布）	使い捨てタイプ	交換目安：1か月ごと
18943	クリンエコラインGXmini用 交換フィルター	材質：PET樹脂	水洗いによる再利用可能
18944	クリンエコラインGXmini用 フィルター枠	材質：樹脂製	
18941	クリンエコラインGXmini用 壁付け金具	材質：スチール（粉体塗装）	
18788	ネイテクノ・ルアーBSパック （10包）	飛翔性昆虫誘引剤（タケノ コ抽出成分）	交換目安：1か月ごと

8.2 オプション品

商品コード	商品名	仕様	備考
18939	クリンエコラインGXmini用 ポール台	ベース：アルミ（アジャス ター付） 台・ポール：スチール 塗装：シルバー粉体塗装	
18975	クリンエコラインGXmini用 目隠しカバー	材質：アクリル樹脂	
23363	クリンエコラインGX II 用捕 虫袋（ジッパー付）	GXシリーズ共通捕虫袋 水洗いによる再利用可能	

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は誘虫灯などの消耗品を除き、お買い上げの日より1ヶ年間です。
保証は日本国内においてのみ有効です。

修理について

保証期間内に、取扱説明書・本体ラベルなどの注意に従った正常な使用状態で、故障が発生した場合には、無料修理させていただきます。

保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷
- 消耗部品
- 故障の原因が本製品以外に起因する場合
- その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷

補修用部品の保有期間

当社ではこの商品の補修用電気部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用電気部品には同機能を有する代替部品を含めます。

アフターサービスについてご不明な点は、当社にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本品をお買い上げの日から1年の間に初期不良で故障が発生した場合に無料修理を行うことをお約束するものです。

品名：クリンエコライン GXmini

保証期間：お買い上げ日から1年間

◆お客様ご住所

お客様	お名前
	ご住所
	電話番号 () —

◆販売店記入欄

お買い上げ日： 年 月 日
<販売店（お問い合わせ先）> 店名・住所 電話番号 () —

※上欄に記入および捺印がない場合は、レシートや領収書など（保証書内に）購入を証明する書類を貼り付けてください。

※ご記入いただきました個人情報は、保証期間内における無料修理の対応および事後の安全点検などにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容
Ver.1.0	2019年2月15日	第1版
Ver.1.0	2021年1月15日	第2版 本体寸法および重量の誤記を修正

2021年1月15日 第2版 発行

製造販売元

本社

イカリ消毒株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11

アグリスクエア新宿11階

TEL. 03-3356-6191（代表）

FAX. 03-3350-1405

<http://www.ikari.co.jp>